

●「センシングネットワークシンポジウム」開催のお知らせ

● 平成18年1月12日

独立行政法人情報通信研究機構(理事長:長尾 真)は、情報通信技術の応用分野として、電磁波(電波・光)を用いたリモートセンシング(遠隔測定)技術を開発し、地球環境などの計測技術を発展させてきました。

このたび、都市環境などを測定対象としたセンシング技術と、急速に発展するネットワーク技術とが融合した「センシングネットワーク」プロジェクトを開始することといたしました。プロジェクト開始にあたり、今後の推進方策などについて、有識者、行政機関、関係研究機関の方々から、ご意見をいただく機会とするため、下記のシンポジウムを開催いたします。

■ 名 称 センシングネットワークシンポジウム -電磁波技術と情報通信で都市環境に迫る-

■ 日 時 平成18年1月20日(金) 14時30分～17時15分

■ 場 所 六本木アカデミーヒルズ40(東京都港区六本木)

■ 主 催 独立行政法人情報通信研究機構 電磁波計測部門

■ 後 援 東京大学先端科学技術研究センター、京都大学生存圏研究所、国立環境研究所

○ 参加料: 無料

○ 参加申し込み方法: 以下の方法により、なるべく事前の参加登録をお願いいたします。

- ホームページによる登録は以下のURLからお申し込みください。
<http://www.prime-intl.co.jp/sensingnet>
- FAX、郵送による登録は必要事項を記載の上、以下の番号または住所にお送り下さい。
【必要事項】氏名(ふりがな)／団体・企業名／役職名／電話番号／E-mailアドレス
FAX: 03-5467-5538
〒150-0012 東京都渋谷区広尾2-2-19 広尾ハイツ2F
(株)プライムインターナショナル センシングネットワークシンポジウム係

○ 内容: 別紙参照 (詳細は<http://www.prime-intl.co.jp/sensingnet>からご覧になれます。)

<問い合わせ先>

情報通信研究機構 総務部 広報室
奥山 利幸、大野 由樹子

Tel: 042-327-6923、Fax: 042-327-7587

<担当部門問い合わせ先>

情報通信研究機構 電磁波計測部門
村山泰啓

Tel: 042-327-6685

Fax: 042-327-6678



SENSING
NETWORK
SYMPOSIUM
2006 JANUARY 2006

センシングネットワークシンポジウム
—電磁波技術と情報通信で都市環境に迫る—

2006年1月20日(金) 14:00開場
会場：六本木アカデミーヒルズ 40
<http://www.academyhills.com/forum/room/40/index.html>

深尾 昌一郎 (京都大学生体情報研究所教授)
三上 岳彦 (首都大学東京教授)
吉崎 正憲 (筑波大学先端研究センター研究員)
中山 雅哉 (東京大学情報基盤センター助教授)
近藤 豊 (東京大学先端科学技術研究センター教授)
石井 康一郎 (東京都環境科学研究所環境研究部長)
大原 利真 (国立環境研究所総合研究官)
神田 学 (東京工業大学助教授)
飯室 弘 (旧) CRCソリューションズ 地球科学部長
塩見 正 (NICT理事)
熊谷 博 (NICT電磁波計測部門長)
井口 俊夫 (NICT電磁波計測部門研究主査)
村山 泰啓 (NICT電磁波計測部門グループリーダー)

主催：情報通信研究機構 電磁波計測部門
協賛：東京大学先端科学技術研究センター
京都大学生体情報研究所
国立環境研究所

NICT
情報通信研究機構

センシングネットワークシンポジウム —電磁波技術と情報通信で都市環境に迫る—

参加申し込み方法

※入場無料です。下記方法により参加登録できますので、なるべく事前の登録をお願いします。

●オンラインによる登録の場合

下記 URL にアクセスし必要事項をご記入下さい。
<http://www.prime-intl.co.jp/sensingnet>

●FAX・郵送による登録の場合

下記番号または住所に必要事項をお送り下さい。
FAX: 03-5467-5538
〒150-0012 東京都渋谷区広尾2-2-19

広尾ハイイツ2F

(株)プライムインターナショナル

センシングネットワークシンポジウム係

【必要事項】氏名(ふりがな)/団体・企業名/役職名/
電話番号/E-mail アドレス/シンポ参加登録と明記

プログラム

■開場 14:00 ■開演 14:30

○開会挨拶:

堀見 正 (NICT 理事)

○シンポジウムの趣旨説明:

熊谷 博 (NICT 電磁波計測部門長)

○「センシングネットワーク」プロジェクトと都市環境のリモートセンシング:

村山 泰啓

(NICT 電磁波計測部門グループリーダー)

○レーダーリモートセンシングによる大気の大気精密計測:

深尾昌一郎 (京大大学院生研研究所教授)

○都市の気候変化と首都圏への社会影響:

三上 岳彦 (首都大学東京教授)

○都市域立体計測のための観測と気象数値モデルによるアプローチ:

吉崎 正憲

(気象庁気象研究所予報研究部第一研究室長)

○インターネットと都市の環境測定:

【ネットワーク中継】

中山 雅哉 (東京大学情報基盤センター助教授)

○リレートーク

近藤 豊

(東京大学先端科学技術研究センター教授)

石井康一郎 (東京都環境科学研究所基礎研究部長)

大原 利真 (国立環境研究所総合研究官)

神田 学 (東京工業大学助教授)

飯室 弘

(西 CRC ソリューションズ 地球科学部長)

○閉会挨拶:

井口 俊夫 (NICT 電磁波計測部門研究主管)

(終了 17:15 予定)

センシングネットワークシンポジウム
—電磁波技術と情報通信で都市環境に迫る—
2006年1月20日(金) 六本木アカデミーヒルズ40
主催: 情報通信研究機構 電磁波計測部門
後援: 東京大学先端科学技術研究センター
京大大学院生研研究所
国立環境研究所

お問い合わせ: 〒184-8795 東京都小金井市貝井北町4-2-1 独立行政法人 情報通信研究機構 電磁波計測部門

TEL: 042-327-5595 / E-mail: sensingnet@nict.go.jp / ホームページ: <http://www.prime-intl.co.jp/sensingnet>

熊谷 博

情報通信研究機構 電磁波計測部門長

シンポジウム開催にあたって

NICT では、情報通信技術の応用分野として、電磁波(電波・光)を用いた環境計測技術、リモートセンシング技術を開発してきました。地上からの計測、航空機搭載センサーによる計測、および人工衛星搭載センサー、といった分野で、国際的にも大きな成果をあげてきました。

さてこの度は、あらたな切り口として「センシングネットワークの技術開発」プロジェクトを開始する予定です。これは、NICT の得意とするリモートセンシング技術と情報通信技術を結合して、これまで身近でありながら、詳しい実態がわからなかった都市域の環境を精密に計測するとともに、その環境情報をネットワークを使って有効に活用する技術の開発を目指すプロジェクトです。

立ち上げにあたり、センシング・ネットワーク・シンポジウムを開催し、本計画に対し、有識者、行政機関・関係研究機関の方々から、今後のプロジェクト推進方策などについてのご意見をいただくことにいたしました。多くの皆様方のご参加をお願いすると共に、今後とも一層のご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

総合司会・進行役

近藤 豊

東京大学先端科学技術研究センター教授

センシングネットワークと都市環境の未来

都市域では近年、大気汚染、ヒートアイランド、都市型集中豪雨などの環境変化・自然災害が発生して問題になっています。人口の集中する都市の気象・環境は、気象・化学・都市計画などのさまざまな分野で研究が行われてきましたが、都市空間の環境を把握する試みというのは、意外なほど限られてきたのが実情です。「センシングネットワーク」はセンサ(計測)するネットワーク、という言葉どおり、測定技術と通信技術の境界領域であり、新たな研究開発の試みです。これによって都市の環境の、これまで得られなかった新たな情報が得られ、都市の理解に大きな発展をもたらすことが期待されます。その成果は、都市の気象学といった科学だけに留まらず、大都市とアジアの環境・地球環境との関わりまでを含んで、そこに暮らす人々の生活、自治体、産業などの面でさらに安全で安心な社会に寄与していくことでしょう。

六本木アカデミーヒルズ40 専用エントランスのご案内

